



子育て県 かがわ ガイドブック

これから子育て、現在子育て中の
あなたに向けて

子育て県 かがわ ガイドブック



イクケン香川 1

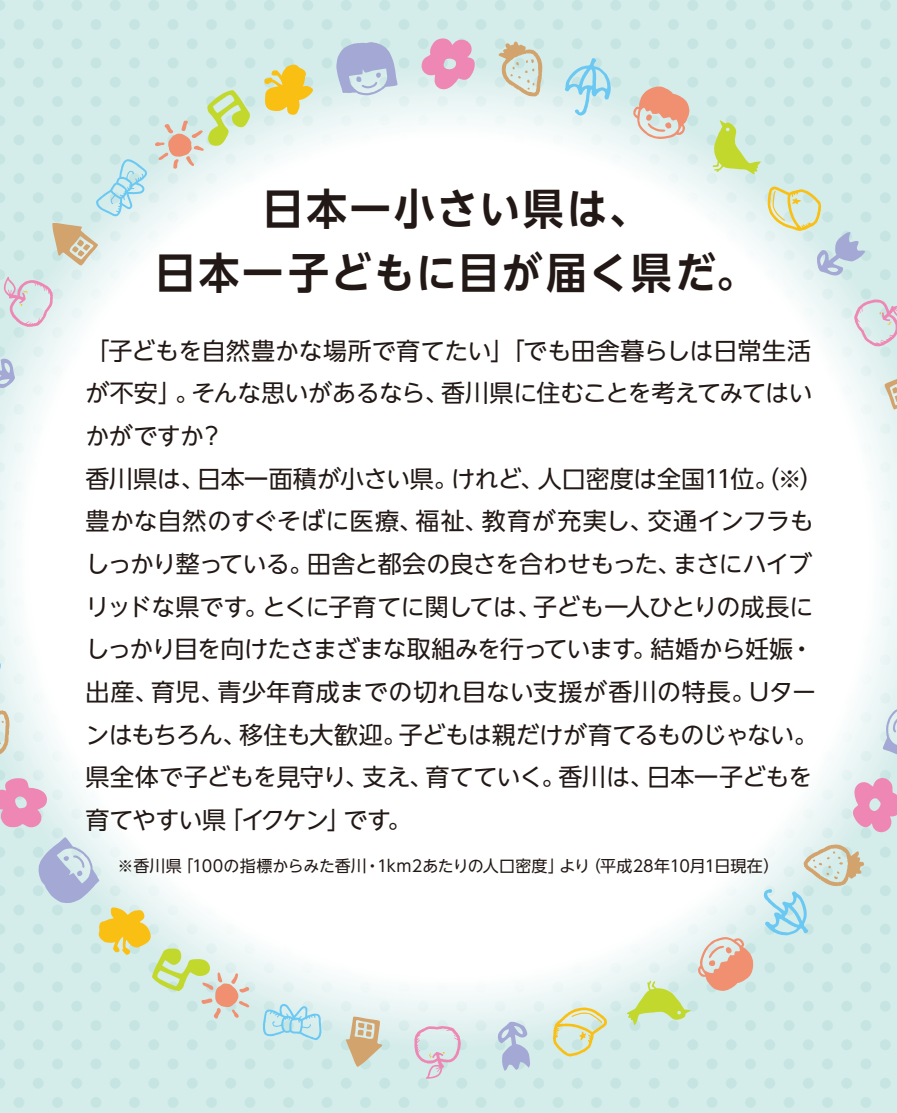
香川県の子育て家庭に直撃インタビュー... 2

香川県の子育て支援 12

- ・多子世帯支援 13
- ・子育て環境 15
- ・再就職支援 20
- ・結婚支援 21
- ・市町へのお問い合わせ先 22

香川県の各市町の紹介 23

- | | | |
|--------|--------|-------|
| ・高松市 | ・丸亀市 | ・坂出市 |
| ・善通寺市 | ・観音寺市 | ・さぬき市 |
| ・東かがわ市 | ・三豊市 | ・土庄町 |
| ・小豆島町 | ・三木町 | ・直島町 |
| ・宇多津町 | ・綾川町 | ・琴平町 |
| ・多度津町 | ・まんのう町 | |



日本一小さい県は、 日本一子どもに目が届く県だ。

「子どもを自然豊かな場所で育てたい」「でも田舎暮らしは日常生活が不安」。そんな思いがあるなら、香川県に住むことを考えてみてはいかがですか？

香川県は、日本一面積が小さい県。けれど、人口密度は全国11位。(※) 豊かな自然のすぐそばに医療、福祉、教育が充実し、交通インフラもしっかり整っている。田舎と都会の良さを合わせもった、まさにハイブリッドな県です。とくに子育てに関しては、子ども一人ひとりの成長にしっかり目を向けたさまざまな取組みを行っています。結婚から妊娠・出産、育児、青少年育成までの切れ目ない支援が香川の特長。Uターンはもちろん、移住も大歓迎。子どもは親だけが育てるものじゃない。県全体で子どもを見守り、支え、育てていく。香川は、日本一子どもを育てやすい県「イクケン」です。

※香川県「100の指標からみた香川・1km2あたりの人口密度」より（平成28年10月1日現在）

現在子育て中の方への
インタビューを交えて、
香川県での子育てのしやすさや
楽しさをお伝えします。

香川県の 子育て家族に 直撃インタビュー



INTERVIEW 01



都心での震災体験後、
「温暖で災害が少ない環境」と
「自然豊かな環境での子育て」に惹かれ、
香川に移住しました！

川地健司さん（45 歳）・真弓さん（43 歳）
澄空くん（9 歳）・陸生くん（9 歳）

健司さんは愛知県、真弓さんは北海道出身。2016 年に高松市に移住。
健司さんは建築関係の会社に、真弓さんは農業関係の会社にお勤め。
家族連れや旅行客で賑わうサンポート高松にてインタビューを行いました。
（写真は高松港にて撮影）

川地様、香川県に移住することになったきっかけはなんですか？

真弓さん：夫も私も千葉県から東京都に1時間半以上かけて通勤していたんですが、そこで東日本大震災を体験しました。公共交通機関が止まって自宅に帰れなかったり、店頭からみるみるうちに商品が消えていく様子を目の当たりにして、都会生活は楽しいけど、子育てをするには、自然のあるのんびりとしたところで暮らす方がいいなと思うようになり、地方への移住を考えました。



健司さん：震災のとき、私は営業先にいたんですが、普段は車で1時間くらいのところから、会社に戻るのに10時間くらいかかりました。私もその日は自宅に帰れませんでした。

真弓さん：温暖で災害が少なそうな瀬戸内地方がいいなと思って調べていたところ、香川県には希望する仕事がありそうで、教育環境も良さそうだし、また、島々を中心とした瀬戸内芸術祭を開催するなどアートにも力を入れていて楽しそうだったので、移住先に決めました。



移住前に香川県に来たことはありましたか？



真弓さん：県で開催している「かがわ暮らし体験ツアー」に参加して、実際に見に来ました。また、ボランティアの方が開設していたゲストハウスに10日間ほど住んでみました。その際に、地元の方に各地域の特色を聞くなどして、息子たちにとってどの校区が合っていそうか、私たち家族の生活スタイルに合った地域はどこかを考えながら家を探しました。

いま高松市にお住まいですが、実際に住んでみていかがですか？

健司さん：通勤時間が1時間以上短くなったので、その分、息子たちと触れ合える時間が増えました。



真弓さん：まち全体がコンパクトにまとまっていて、とても住みやすいです。道路環境も良くて、渋滞が少ないので海にも山にも車で30分、山奥でも1時間くらいあれば行けますね。わざわざ計画を立てなくても、週末の朝の気分次第で遊びに行けます。おむすび山があちこちに見える風景が好きで、ドライブをしていると癒されます。

澄空ちゃんと陸生くんはどこに行ったのが楽しかった？

澄空くん・陸生くん：キャンプに行って、水遊びとかアユのつかみ取りをしたのが楽しかった！あと、海でマテ貝を採ったよ。砂浜を掘って見つけた穴に塩を入れると飛び出てくるから、それを採るんだよ！



健司さん：香川県に来てから息子たちが釣りをしたいと言い始めたので、海や川に行って、魚釣りもしました。

真弓さん：「さぬき農園ぐらし」というWebサイトに登録しておくと、農業体験の情報が届くんですけど、それを利用して、みかん狩りや豆腐づくりにも参加しました。私自身も楽しかったですね。



香川県で子育てをしていて便利だったことは何ですか？



真弓さん：うどんが子育て世帯の外出に大助かりですね。小さいお子さんでも食べられますし、県内の多くの店がセルフサービス形式で、待たずにすぐに出てきます。天ぷらや唐揚げなどのサイドメニューを付けても、だいたい500円以内に収まります。あと、あちこちにお店があるので、子どもと一緒に入れるお店を探す手間がかかりません。

おすすめのスポットはありますか？

真弓さん：「さぬきこどもの国」ですね。無料で利用できますし、外に遊具がたくさんあって、建物の中でも遊べるし、乳幼児から小学低学年世帯にとっては、すごく重宝する遊び場だと思います。空港に隣接しているので、飛行機もみられて、子どもは大喜びです。私だけではなく移住してきたママ友や、北海道から遊びに来た知り合いも、「この施設はすごくいい！」って言ってました。



移住してきた方同士のつながりがあるんですか？



真弓さん：何人かで時々集まっています。また、移住ママさんが運営している移住支援団体たかまつ「IJU」では、子連れで参加できる交流会も開催しています。いまから移住してくる方で、先輩ママさんのお話が聞きたいという方がいましたら、県を通じてご連絡いただければ、ご協力できると思います。



(当インタビューは2018年8月19日に実施したものです)

INTERVIEW 02



「農業と自然に囲まれたシンプルな生活」に惹かれ、 移住を決意！

吉川雄介さん (39 歳) ・ 郁子さん (39 歳) ・ 航くん (3 歳)

雄介さん、郁さんは兵庫県出身。2014 年に三豊市に移住。
雄介さんは農業法人で野菜作りに、郁さんは育児に奮闘中。

二人で協力してリフォームを手掛けた古民家のご自宅にて、
インタビューを行いました。

(写真はご自宅前の田園にて撮影)

吉川様、香川県に移住することになったきっかけはなんですか？

雄介さん：結婚して数年が過ぎても子どもができなかったのですが、この先も夫婦だけの生活が続くかもしれないと思ったときに、田舎に住んでみたいと感じたんです。あと、農業をしたいと考えてるようになって、Webサイトで求人を探したところ、いま勤めている農業法人を見つけて、香川県への移住を決めました。



郁子さん：夫と私だけなら、もし収入が減ったとしても、なんとかやっていけるだろうみたいな感じでした。できるだけ自分たちで作ったもので衣食住をまかなうような、シンプルな生活への憧れがありました。

私は以前パン屋で働いていたので、家の横の納屋で、夫が育てた食材を使ったパン作りができればいいなと思ってます。



航くんを授かったのは、移住してどれくらいしてからですか？



郁子さん：三豊市の「空き家バンク」を利用して、夫がいまの家を見つけてくれたんですけど、江戸時代からの古民家で、かなりリフォームしないと住めない状態だったんです。できるだけ自分たちの手で作業することにして、夫が古くて使えない部分を解体して、炊事場や暖炉等を作って、私が家のインテリア関係を担当しました。そのリフォーム作業がひと段落したところに、息子を授かりました。

雄介さん：移住して間もなく授かったので、環境の変化がよかったのかなと言われることが多いです。



郁子さん：私もそんな気がしてます。

航くんとは普段どのように過ごされてますか？

郁子さん：周りに知り合いが誰もいない状態の頃、産後の訪問指導の際に保健師さんから、近くの子育て支援センターに行くよう勧められて、よく行ってます。保育士の先生がすごく親切で、いろいろなことを話せる友達がたくさんできました。結婚を機に県外からいらしたお母さんもたくさんいて、楽しく過ごせます。息子も、自宅の周りには同い年くらいの子どものいないので、そこで友達と遊べて楽しそうです。



子育てをしていて助かっている制度はありますか？



郁子さん：ファミリー・サポート・センターの制度がいいですね。夫が仕事で家にいないときに、家のリフォーム作業をするときや、私の体調が悪くて抱っこできないときに、子どもを外に遊びに連れて行ってくれるので、とても助かっています。

地域の中で「子育ての援助をしたい人」と「子育ての援助をしてほしい人」を結ぶ会員制度ですね。



郁子さん：私たちの住んでいる三豊市では、ファミリー・サポート・センター等を利用する際に使用できる「子育て応援サービス券」を子ども*一人につき3万円分もらうことができるんですよ。とても便利なので、私はすでに使い切っていました。

※0歳から3歳の誕生日以後、最初の3月31日までの子どもが支給対象。利用事業の対象年齢まで使用可能。

航くんにはどのように育って欲しいですか？

雄介さん：航（わたる）には、この自然に囲まれた環境の中で「わ」くわく、「た」のしく、生き「る」ように育って欲しいと思っています。



郁子さん：どうやって食べ物ができるのか、お肉を食べることは命をいただいているということを、きちんとわかる子になって欲しいです。

夫が野菜を作っている畑に連れて行ったり、家の近くには養豚や養鶏をしているところもあるので、実際に目で見、体で感じながら、成長していったらいいと思います。



これから香川県で子育てをしようと考えられている方へのアドバイス等ありますか？



雄介さん：香川県は市街地と田畑や自然が残る田舎との距離が近くて、とても便利で過ごしやすいところだと思います。もし迷っているのであれば、是非一度、見に来て欲しいと思いますね。

（当インタビューは2018年9月2日に実施したものです）



INTERVIEW 03



「オリーブ」に魅せられ、小豆島に移住しました！

西田征弘さん（45 歳）・真紀子さん（43 歳）・彩乃ちゃん（12 歳）

征弘さんは福岡県、真紀子さんは徳島県出身。2009 年に小豆島町に移住。

ご夫婦でオリーブの栽培から加工、販売まで行う農園にお勤め。

3 歳だった彩乃ちゃんは、小学 6 年生になりました。

征弘さんが立ち上げに関わった、同農園の直営ショップにて、

インタビューを行いました。

（写真は外のオリーブ農園にて撮影）

西田様、小豆島に移住することになったきっかけはなんですか？

征弘さん：妻の実家の魚屋を手伝っていたんですが、将来的には、以前働いていた広告会社での経験を活かせる会社に就職したいと考えていたところ、好きだったオリーブの栽培から、加工、販売までしているいまの会社で求人があったので、移住を決意しました。



移住されたのは彩乃ちゃんが3歳のときですが、周りに知り合いがなくて大変じゃなかったですか？



真紀子さん：実家では母が娘の面倒をみてくれていました。でも、こちらに来て最初は、私は家にいましたし、3歳半からは、子どもセンターに通い始めたので、そう大変でもなかったです。保育所と幼稚園が一緒になったような、いまで言うことも園みたいところで、すごく先進的でしたね。

小豆島での生活はいかがですか？

征弘さん：島暮らしというと不便な感じがするかもしれませんが、小豆島にはスーパーやホームセンター、コンビニ等が揃っていて、生活必需品は手に入りますし、通勤も含め、生活が車で20分圏内なので、とても快適ですね。あと、高松だけではなく、岡山や神戸方面等にもフェリーが出ているので、とても便利です。食べ物もとてもおいしいですね。特に魚は、百貨店で売られているような高級魚が、地元のスーパーで安く売られていてびっくりしました。マナガツオやタイラギ貝等、地ものが手に入ります。



学校生活はどんな感じですか？



真紀子さん：娘の通っている小学校は一学年一クラスなので、幼稚園からずっと一緒の子どもがたくさんいて、もう家族みたいな感じなんです。親同士も家庭の状況がわかっていて、私たちが共働きということで、同級生の親御さんが娘の送り迎えをしてくれることもあって、助かってます。元々、娘はおとなしい性格だったんですけど、島の子どもと暮らす中で、活発になりましたね。女の子同士で、取っ組み合いの喧嘩もしてますよ。



彩乃ちゃん：仲のいい子とは、毎日くらい喧嘩してます（笑）

征弘さんは彩乃ちゃんによく遊びに行くんですか？

征弘さん：小豆島には海も山もあって、自然が豊かなところですが、私は海が好きなので、一緒に行こうって感じで娘を連れて海に遊びに行くことが多いですね。海で潜ったり、カヤックをしたり、釣りをしたりと楽しんです。



真紀子さん：私はどちらかというインドア派なので、夫が娘をよく外に遊びに連れて行ってくれて、助かってます。

彩乃ちゃん：海に行くのは楽しいです。潜ったら小さな魚が泳いでるのが見えるし、足元に寄ってきたりもしますよ。



小豆島で子育てをしてよかったと思うことは何ですか？



真紀子さん：この島に来て、普通ではできないようなことを娘に体験させられる機会に恵まれたことは、とてもよかったと思います。
例えば、娘の友達とのつながりで、地元の農村歌舞伎に参加させてもらいました。踊りの先生から日本舞踊を教えてもらったり、浴衣も自分で着られるようになりました。

征弘さん：あと、小学1年生から4年生まで、瀬戸内芸術祭をきっかけに移住してきた絵師の方が開いていた、絵画教室に毎週通っていましたね。画材以外は無料で、絵画だけではなく、いろいろな遊びも教えてくれました。アーティストの方とすごく近い距離で触れ合えたことは、貴重な経験だと思います。



彩乃ちゃん：私のお姉さんみたいな人です。海と一緒に「亀の手」という貝を採ったりもしました。
あと、小学校に映画のエキストラの募集がきて、2回出演したこともあります。

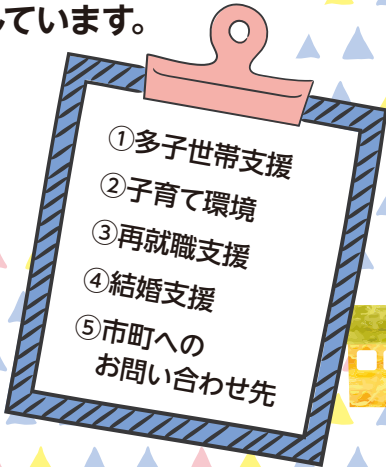
来年は3年に1度の瀬戸内芸術祭の開催年なので、芸術家との交流イベント等で新しい出会いがあるかも知れませんね。

(当インタビューは2018年8月1日に実施したものです)



香川県の 子育て支援

香川県では、
次代を担う子どもたちを安心して生み、
健やかに育てることができる
環境を整えるため、
結婚から妊娠・出産、子育て、
青少年育成までの切れ目ない支援を
総合的に推進しています。

- 
- ①多子世帯支援
 - ②子育て環境
 - ③再就職支援
 - ④結婚支援
 - ⑤市町へのお問い合わせ先

多子世帯支援

多子世帯の負担を軽減 子育てしやすいサポートが充実

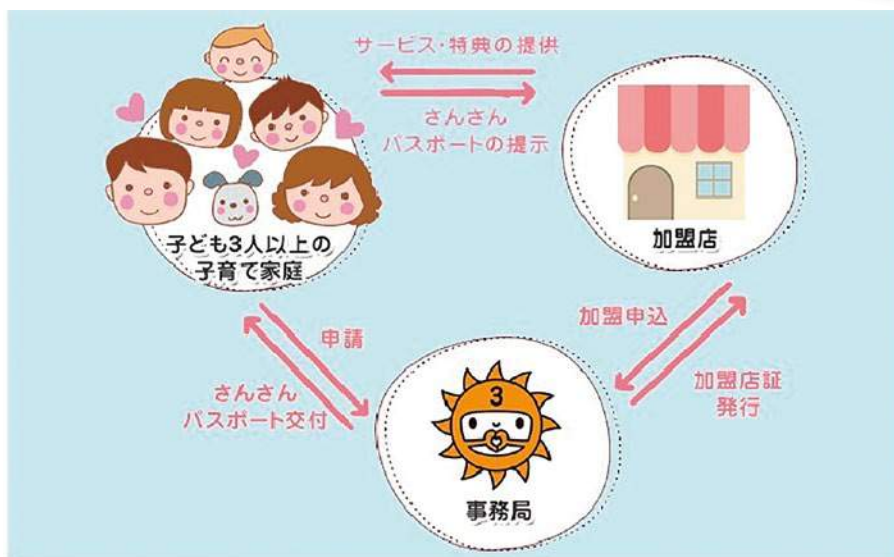
香川県では、多子世帯のみなさんが子育てしやすいよう、県内施設等で特典が受けられるさんさんパスポート事業や、病児・病後児保育や保育料等の負担軽減を実施しています。

■ さんさんパスポート

3人以上の子どもを持つファミリーを応援する「さんさんパスポート」が誕生しました。「さんさんパスポート」は、3人以上の子どもを持つファミリーを応援する県内の店舗又は施設で使え、店頭で提示するとサービス・特典（ショッピングや飲食、教育など）が受けられます。



香川県の
子育て支援



詳しくはこちら
▶<http://www.3pass.jp>



多子世帯支援

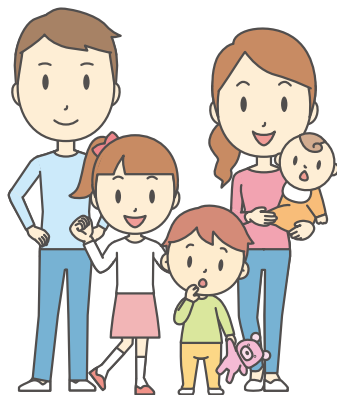
第2子3歳未満児・第3子以降就学前児童の 病児・病後児保育利用料無料化事業

保護者の経済的負担を軽減するための、病気の治療中や回復期に一時的に子ども預かる病児保育施設での利用料（延長料金、飲食物費は除く）を、第2子は3歳未満児を対象に、第3子以降は就学前児童を対象に無料化します。

第3子以降保育料免除事業

多子世帯の経済的負担を軽減するため保育所・認定こども園・幼稚園・地域型保育施設に通う児童のうち、第3子以降の保育料等を減免します。

（平成28年度から、対象を3歳未満→就学前に拡大）



子育て環境

医療や教育費などを含めた 子育てしやすい環境の充実

「地域子育て支援拠点」の充実や子育てに係る経済的負担の軽減等、子どもや子育て家庭にやさしい環境の整備を推進しています。
医療環境も整っており、安心して子育てできる環境です。
また、「教育県」としても高い評価を受けています。

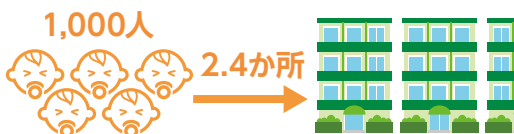
■ 遊び場・仲間づくり

地域の身近な場所で子育て中の親子を支援する「地域子育て支援拠点」設置か所数が全国5位と充実しているほか、大型児童館「さぬきこどもの国」等で、子どもに健全な遊びや創造的活動の場を提供しています。

【地域子育て支援拠点】

全国5位

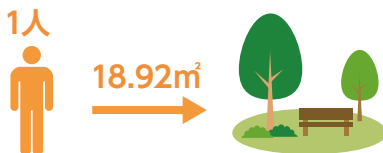
乳幼児人口1,000人あたり**2.4**か所



【都市公園等面積】

全国6位

都市計画区域内等人口1人あたり**18.92**m²



(出典：100の指標からみた香川 平成30年度)

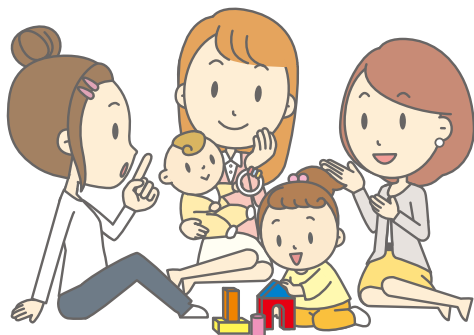
子育て環境

地域子育て支援拠点

地域子育て支援拠点は、地域子育て支援センターやつどいの広場などと呼ばれ、乳幼児を中心とした親子が集い、相互に交流や情報交換するほか、子育てに関する相談や関連情報の提供を行っています。保育所に併設されたり、公共施設内のスペースや商店街の空き店舗、民家など、地域の身近な場所に設置されています。



県内の地域子育て支援拠点一覧はこちら
▶<https://kagawa-colorful.com/kyoten>



さぬきこどもの国

科学や工作、音楽などさまざまな体験型の遊びを通して、子どもたちの心と身体の健やかな育ちをサポートする香川県唯一の大型児童館です。高松空港に隣接しているため、離発着するジェット機を間近で見られるのも人気の1つです。



詳しくはこちら
▶ <http://www.sanuki.or.jp>



子育て環境

■ 子どもの医療費

子育てに係る経済的負担を軽減するため、
県内の各市町が独自に子どもの医療費の無料化を実施しており、
県もその一部を補助しています。

【市町実施状況】

平成30年4月1日現在

市 町 名	対象年齢	
	通 院	入 院
高 松 市	小学卒業迄	中学卒業迄
丸 亀 市	中学卒業迄	中学卒業迄
坂 出 市	中学卒業迄	中学卒業迄
善 通 寺 市	中学卒業迄	中学卒業迄
観 音 寺 市	中学卒業迄	中学卒業迄
さ め き 市	中学卒業迄	中学卒業迄
東か がわ市	中学卒業迄	中学卒業迄
三 豊 市	中学卒業迄	中学卒業迄
土 庄 町	中学卒業迄	中学卒業迄
小 豆 島 町	中学卒業迄	中学卒業迄
三 木 町	中学卒業迄	中学卒業迄
直 島 町	高校卒業迄	高校卒業迄
宇 多 津 町	中学卒業迄	中学卒業迄
綾 川 町	中学卒業迄	中学卒業迄
琴 平 町	中学卒業迄	中学卒業迄
多 度 津 町	中学卒業迄	中学卒業迄
まんのう町	中学卒業迄	中学卒業迄

医療

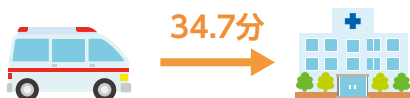
香川県の医師・看護師数は全国上位。救急医療も充実しており、救急救命センターが3か所あるほか、四国で唯一の小児救命救急センターを備えております。また、救急車で搬送所要時間もトップクラスの短さです。全国に先駆けてICTを活用した遠隔医療ネットワークが稼働し、医療機関の連携が図られています。県内どこにいても高水準の医療が受けられます。



【救急自動車搬送所要時間】

全国11位

救急自動車が覚知から医療機関などに
人員を収容した平均時間**34.7分**



【救急病院数】

全国6位

人口10万人あたり**4.9**施設



【医師数】

全国12位

人口10万人あたり**289.4**人



【看護師数】

全国13位

人口10万人あたり**1557.5**人



(出典：100の指標からみた香川 平成30年度)

再就職支援

子育てをしながら就職したい皆様の味方 マザーズコーナーで仕事と子育てを 両立できる仕事選び

ハローワークのマザーズコーナーは、子ども連れで仕事探しができます。
仕事と子育ての両立を目指す皆様へのきめ細かなサポートが充実！

～子育てしながら再就職を希望される方へ～

香川労働局では、子どもを連れてお仕事の相談ができる「マザーズコーナー」
を下記のハローワークに設置し、子育てをする女性等に対して再就職を支援し
ています。

しごとプラザ高松 マザーズコーナー

高松市常盤町1丁目9-1
TEL 087-834-8609
月～金、第2・第4土曜（祝日、年末年始を除く）
午前9時30分～午後6時

ハローワーク丸亀 マザーズコーナー

丸亀市中府町1丁目6-36
TEL 0877-21-8609
月～金（祝日、年末年始を除く）
午前8時30分～午後5時15分



結婚支援

かがわ縁結び支援センター (EN-MUSU かがわ) では、結婚を希望する独身者の出会い・結婚をサポートしています。

■ 縁結びマッチング

会員登録制（入会登録料2年間で1万円）でEN-MUSUかがわ内のタブレット端末からプロフィール情報を検索し、気になる相手に申込み、相手の承諾が得られればお引合わせ。縁結びおせっかいさんがお引合せの日程調整や当日の立会い、交際フォローまで親身にお世話します。

■ 縁結びイベント

応援団体やEN-MUSUかがわが企画・実施する、独身男女を対象とした出会いの機会となるイベント情報をメルマガで配信。参加したいものがあれば、WEBサイトからイベントユーザー登録し、応募できます。ユーザー登録は無料です。（イベント参加費が必要です。）

イベントでは、縁結びおせっかいさんが参加者へのアドバイスや成立カップルのお引合せ、交際フォローまで行います。

かがわ縁結び支援センター (EN-MUSU かがわ)

高松市番町1丁目10番35号 香川県社会福祉総合センター1階

TEL 087-862-1711 FAX 087-862-1713

開所日：土、日、月は10時～17時、火、水、木は13時～20時

各県民センターでも会員登録・会員情報の閲覧をすることができます。

東讃県民センター	毎月第2・4木曜	10時～13時 14時～17時
小豆県民センター	毎月第3木曜	
中讃県民センター	毎週水曜	
西讃県民センター	毎週火曜	

詳しくはこちら

▶ <https://www.ems-kagawa.jp/>



市町へのお問い合わせ先

市町名	母子保健関係	電話番号	子育て・保育関係	電話番号
高 松 市	高松市保健センター	087-839-2363	子育て支援課 こども園運営課	087-839-2354 087-839-2358
丸 亀 市	健康課	0877-24-8806	子育て支援課 幼保運営課	0877-24-8808 0877-35-8892
坂 出 市	けんこう課	0877-44-5006	こども課	0877-44-5027
善 通 寺 市	子ども課	0877-63-6365	子ども課	0877-63-6365
観 音 寺 市	健康増進課	0875-23-3964	子育て支援課	0875-23-3962
さ め き 市	国保・健康課	0879-52-2518	子育て支援課 幼保連携推進室	0879-52-2517 0879-52-2522
東かがわ市	保健課	0879-26-1229	子育て支援課	0879-26-1231
三 豊 市	子育て支援課	0875-73-3016	子育て支援課 保育幼稚園課	0875-73-3016 0875-73-3036
土 庄 町	健康増進課	0879-62-1234	教育総務課	0879-62-7012
小 豆 島 町	健康づくり福祉課	0879-82-7038	子育て共育課	0879-82-7010
三 木 町	まんでがん子ども課	087-891-3322	まんでがん子ども課	087-891-3322
直 島 町	住民福祉課	087-892-3400	教育委員会	087-892-2882
宇 多 津 町	健康増進課	0877-49-8008	保健福祉課	0877-49-8003
綾 川 町	健康福祉課	087-876-2525	子育て支援課	087-876-6510
琴 平 町	子育て支援課	0877-75-6719	子育て支援課	0877-75-6719
多 度 津 町	保健センター	0877-32-8500	健康福祉課	0877-33-1134
まんのう町	健康増進課	0877-73-0126	学校教育課	0877-73-0108

香川県の 各市町の 紹介

香川県の各市町の魅力をご紹介します。

市町で独自に取り組んでいる施策がありますので、
各QRコードを読み込むか、
URLにアクセスして最新情報をチェックしてください。



高松市



高松は、美しく穏やかな瀬戸内海と昔話に出てきそうなお椀型の山が中心部からすぐ近くにあります。国の指定史跡である「高松城跡玉藻公園」、国の特別名勝に指定されている庭園の中で最大の広さを持つ「栗林公園」、源平合戦の古戦場として知られる屋根の形をした山「屋島」、女木島にある「鬼ヶ島大洞窟」など、観光のおすすめスポットが多くあります。

その他にも、子育てについて気軽に相談したり仲間づくりのきっかけになる地域子育て支援拠点や、お散歩にぴったりの公園も市内各地にあります。子育てしやすいまち高松で暮らしてみませんか？

高松市のホームページもご覧ください

- たかまつ子育て情報サイト らっこネット
<http://takamatsu-rakko.net>



- 高松市こども園運営課ホームページ
http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kosodate/youchien_hoiku/kodomoen/



丸亀市



丸亀市は平成の大合併により、平成 17 年 3 月 22 日に旧丸亀市・旧綾歌町・旧飯山町が合併し、新「丸亀市」として発足、平成 27 年度に合併 10 周年を迎えました。人口は約 11 万人、瀬戸内の温暖な気候の自然豊かなまちです。そして「地域で支え合い、安全と安心で楽しく子育てができるまち」を基本理念とし、社会全体の協働により、子どもの最善の利益を第一に考え、子どもが夢をもって健やかに育つまち、安心して子どもを生み、喜びや楽しみをもちながら子育てができるまちの実現を目指しております。

丸亀市のホームページもご覧ください

- 公式サイト <https://www.city.marugame.lg.jp>



【子育て】▶



坂出市



坂出市は、郊外に快適なドライブが楽しめる五色台スカイラインや、崇徳上皇ゆかりの白峰寺を有する五色台、約 500 本の桜が咲き乱れ、県下でも有数の桜の名所として有名な常磐公園、山城の歴史が残る城山、讃岐富士と称される飯野山などがあり、海に山に自然豊かな土地柄です。

本市では、子育て支援策として保育料の軽減や出産祝金および乳児紙おむつの支給、中学校修了までの子ども医療費の助成制度等、子育て世帯への経済的支援策にも取り組んでいます。

また、四季を通じて花や緑が楽しめる瀬戸大橋記念公園や番の州公園などがあり、子どもを連れて散歩したり、遊んだり楽しむことができます。

市内には公私合わせて 13 保育所、8 幼稚園、2 認定こども園、また高等学校が 4 校あり、教育・保育環境が充実しています。

坂出市のホームページもご覧ください

- 坂出市子育て応援サイト <https://www.city.sakaide.lg.jp/site/kosodate/>



善通寺市



市内中心部に総合周産期母子医療センターである四国こどもとおとな医療センターがあり、妊娠期から連携できるため、安心して楽しく子育てができる環境にあります。

本市は、教育と子育て支援に力を入れており、幼稚園授業料の無料化、保育所保育料の一律 4,500 円減額をしているほか、医療費についても中学校修了まで無料となっています。

善通寺市のホームページもご覧ください

● 公式サイト <http://www.city.zentsuji.kagawa.jp>



観音寺市



香川県の最西端、四国の中央部に位置する観音寺市は、海の幸、山の緑が輝く自然豊かな美しいまちです。温暖な気候で雨や災害も少なく、とても暮らしやすい気候に恵まれています。

そんな観音寺市では、子育て支援も充実！中学校卒業までの医療費助成や第3子以降の保育料が無料。就学前第2子以降の保育料や就学前第2子・第3子以降の幼稚園給食費と預かり保育料も無料等、経済的にも支援！

また、土日にも開設の子育て支援センター「ほっとはうす萩」をはじめとして、市内7か所に地域子育て支援センターがあり地域で子育てを応援しています。ゆったりとした時間が流れるまち「かんおんじ」で暮らしませんか。

観音寺市のホームページもご覧ください

● 公式サイト <http://www.city.kanonji.kagawa.jp>

【子育て】▶



【教育・学校】▶



さぬき市



さぬき市は、香川県東部に位置し、穏やかな瀬戸内海の気候と讃岐山脈の裾に広がる緑豊かな田園が織りなす、美しい景観を有する市です。また、白砂青松で知られる瀬戸内海国立公園・津田の松原、江戸の奇才、平賀源内を輩出した土地柄など、歴史的観光資源にも恵まれているほか、市内には四国霊場 88 カ所のうち、86、87、88 番と、四国遍路を締めくくる札所を有する「結願のまち」としても知られています。

本市では、子育て世代を地域ぐるみで応援することを目指し、市の子育て支援制度や子育てサークルなどの情報を網羅したガイドブック「すくすくファイルさぬきッズ」を配布しています。また、スマートフォン等に対応した子育て支援アプリ「さぬきッズダイアリー」では、電子母子手帳の機能に加え、写真やコメントを記録したり、家族で情報共有したりできる機能があり、育児や仕事に忙しいパパ・ママをサポートしてくれます。子育て世代の皆さん、ぜひ、さぬき市にお越しください。

さぬき市のホームページもご覧ください

● 公式サイト <http://www.city.sanuki.kagawa.jp>

【暮らし】▶



【教育・文化】▶



東かがわ市



東かがわ市は、その名のとおり香川県の東端に位置するまちです。自然豊かな瀬戸内の海と阿讃の山々、穏やかな気候に恵まれた暮らしやすい風土で、京阪神から車で2時間ちょっとの距離にあります。また、市内全域で光インターネットとケーブルテレビが利用できます。東かがわ市移住交流ツアー（お一人様1万円まで補助）を実施しておりますので是非体験してください。東かがわ市の子育て情報ページもご覧ください。

東かがわ市のホームページもご覧ください

● 育児を応援する
行政サービスガイド
ママフレ
<http://higashikagawa-city.mamafre.jp>



● 公式サイト
<http://www.higashikagawa.jp>



【出産・子育て】▶

【就学(入学・入園)】▶



三豊市



写真／三豊市観光交流局

三豊市は、香川県西部に位置し、「日本のウユニ塩湖」として話題の父母ヶ浜の夕日や、紫雲出山の桜など自然観光スポットがたくさんある、海あり山ありの自然環境豊かなまちです。

子育ての基本理念を「三豊で育ち、三豊が育て、三豊を育てる子育て・子育てのまち」とし、子育て応援サービス券や各種不妊治療の助成など、妊娠・出産から子育てまで「切れ目のない支援」を行い、子育てしやすいまちづくりに積極的に取り組んでいます。

ぜひ、「みとよ」での子育てライフをご満喫ください。

三豊市のホームページもご覧ください

● みとよ子育てネット ここ笑み <http://www.kokoemi.jp>



土庄町



海、山などたくさんの自然や島々で暮らしている人々の温かさに触れることのできる土庄町（とのしょうちょう）は、都会での生活から離れ、ほっと一息つくことのできる和みのまちです。温暖な気候のもと、海あり・山あり・人情味ありのまちでのびのびと子育てしてみませんか。

土庄町では、町外の方を対象に移住者として受け入れるため、定住促進と地域活性化に取り組んでいます。移住を決めるのはあなた自身であるとともに、子どもの豊かな成長を左右します。健やかな移住生活をおくるためにも、親子で地域の行事に積極的に参加し、地域に溶け込むことで島での子育てライフを楽しみましょう。

土庄町のホームページもご覧ください

● 公式サイト <http://www.town.tonosho.kagawa.jp>

【子育て情報】▶



【移住促進】▶



小豆島町



かつては交通の要所として栄えた小豆島は、雄大な自然に恵まれ、先人たちから培われてきた、文化・伝統・産業・自然・人情が色濃く残るまちです。近年では、瀬戸内国際芸術祭に参加し、さまざまな人が島を訪れ、島外のとの交流や島に魅了された方の移住も多くなってきています。

そんな小豆島町では、「子育て」とともに、子ども自らの力で育つことを含めて「子育て」という言葉を使い、すべての子育て家庭を地域ぐるみで応援していこうと、未来を担う子どもたちの成長をまちぐるみで応援しています。一度ゆっくりと島を訪れてみてください。美しい海と山、雄大な自然と共にあなたの来島をお待ちしております。

小豆島町のホームページもご覧ください

● 公式サイト <http://www.town.shodoshima.lg.jp>



三木町



三木町では、「みきを故郷（ふるさと）に ええんちゃうん！子育て大作戦」を旗印として、「日本一子どもを産み育てやすい町」をめざし、「24 時間対応の乳幼児一時預かりサービス」「まんでがん未来サポートセンター」等の様々な事業を行っています。

また、「三木町空き家バンク」に登録された空き家物件を利活用する移住者を対象とした支援制度も始めました。移住支援制度をはじめ、三木町についての情報をさらに知りたいという方は、シティプロモーションサイト「KIT*MIKI」をぜひご覧ください。

三木町のホームページもご覧ください

● 公式サイト
<http://www.town.miki.lg.jp>



● KIT*MIKI
<http://www.kit-miki-kagawa.com>



直島町



草間彌生「赤かぼちゃ」
2006 年 直島宮浦港緑地
写真／青地 大輔

直島町は、香川県高松市の北方 13km、岡山県玉野市の南方 3km に位置した小さな島です。海に囲まれ豊かな自然の中、水と電気は岡山側から来ており、大きなフェリーも高松方面、玉野方面に運航され、交通の便もよく、治安もよいため、のびのびと子育てができ、ゆったりと生活できます。

近年では、ベネッセアートサイト直島により現代アートの聖地として日本はもとより、世界から注目され、年間約 50 万人の観光客の方々に来ていただいています。

直島町では、出産奨励金の支給のほか、妊婦健康診査に係る交通費の助成、3 歳まで紙おむつや粉ミルクなどに係る費用の助成、不妊治療に係る費用の助成や、高校 3 年生まで医療費の無償化など、子育て支援にも力を入れています。

直島町のホームページもご覧ください

● 公式サイト <http://www.town.naoshima.lg.jp>



宇多津町



本町は、北部には企画整理事業によりマンションや商業・流通施設が立ち並び、中心部には1社9カ寺のある昔の姿を残した古街エリア、南部には田園風景が広がるなど、コンパクトで様々な顔をもつ町です。また、うたづ臨海公園をはじめ、北部各所にある公園の多くは遊歩道が繋がり、安心して街中を散策いただけます。交通の便でもJR宇多津駅をはじめ、主要な道路が東西南北に走り、高速道路へのアクセスも容易です。子育て支援については、町内に5つの保育所と3つの幼稚園がそれぞれ特色のある保育・教育を行っています。また、県内で唯一公設の「地域子育て支援拠点事業」を実施しており、宇多津駅前「サポートセンター」(月・火・木の10時から15時まで)と北小学校の東にある児童館「キッズプラザうたづ(水・金・日の9時から12時まで)」で計週6日間子育ての相談や季節の行事を実施し、安心して子育てができる環境づくりを積極的に行っています。

宇多津町のホームページもご覧ください

● 公式サイト <http://www.town.utazu.kagawa.jp>



綾川町



香川県のほぼ中央に位置する綾川町です。ことでん(私鉄)の駅が6つあり、便利な一方、山登りや川遊びなどに適した自然も豊かで「まあまあ街、まあまあ田舎」です。うどん発祥の地として有名なうえに、「おいで米(まい)」「さぬきひめ(いちご)」「富有柿」など1年を通しておいしい食べ物にも恵まれています。

また、本町だからできる顔の見えるきめ細かな子育て支援を展開しています。就学前のお子さんと利用できる子育て支援センター等も充実しています。各保育・教育施設では地域の特色を活かしつつ、豊かな心、たくましく生きる力の基礎の育成を目指しています。

綾川町のホームページもご覧ください

● 公式サイト <http://www.town.ayagawa.kagawa.jp>



琴平町



金刀比羅宮(ことひらぐう)の門前町である琴平町は、讃岐平野の中央に位置し、町域は東西3km、南北約5kmで面積8.47km²とコンパクト。市街地・観光地エリアと、農業・新興住宅地エリアが町内に共存します。JR、ことでんの電車、バスの路線が充実しており、高松空港への直通バスがあるため、国内だけでなく海外へも行きやすい位置にあります。光ケーブルは町内全域を網羅しています。また、香川県一のニンニクの生産地で、「ガリック娘」「ガリック侍シリーズ」など、こんぴらにんにくを活用した商品が充実しています。

子育てにおいては、保育所3か所、幼稚園2か所、小学校3か所があり、すべて町内どこからでも2km圏内。中学卒業まで医療費が無料で、医療機関も多くあります。

琴平町のホームページもご覧ください

● 公式サイト <http://www.town.kotohira.kagawa.jp>



多度津町



本町は、四国鉄道の発祥の地として、交通の要所として発展してきました。臨海部には工業地帯がある一方で、中心部では昔ながらの街並みが残っています。ＪＲ多度津駅前にはパークアンドライド駐車場が整備されており、町外への通勤やお出かけもしやすくなっております。

子育て支援として、小学生の放課後預かりを高学年にも拡充し、平成30年4月から、「子育て世代包括支援センター」を開設いたしました。保育士による親子遊びやリトミック、ベビーマッサージなど子どもと楽しく過ごせる広場を毎日開設しています。保健師・助産師・保育士等の専門スタッフが妊娠中から子育て期まで安心して子育てできるようにサポートいたします。

多度津町のホームページもご覧ください

● 公式サイト <http://www.town.tadotsu.kagawa.jp>



まんのう町

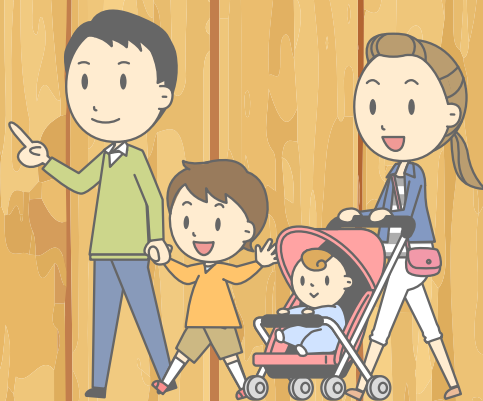


本町のまちづくりの基本となるまんのう町総合計画では、「誰もが住みよい・住み続けたいまちづくり」を基本理念とし、教育分野では、「心豊かな人材を育てるまちづくり」を、また、福祉分野では、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を基本目標に位置づけ、町の将来像「元気まんまん まんのう町」をめざしています。

子育て支援に関しては、「だれもが子育てしやすい 子育てしたいまち まんのう」を基本理念に子ども子育て支援事業計画を策定し、さまざまな子育て支援事業などを行っています。町内にはまんのう公園やかりんの丘公園など子ども達が元気に遊べる公園、図書館、親子の遊びや仲間づくりをサポートするつどいのひろばや、子育て支援センター、育児サークルがあり、豊かな自然のなかで子ども達がのびのびと育つ環境があります。

まんのう町のホームページもご覧ください

● 公式サイト <https://www.town.manno.lg.jp>





「子育て県 かがわ」情報発信サイト

Colorful

<https://kagawa-colorful.com>



発行

香川県健康福祉部子ども政策推進局 子ども政策課

〒760-8570 高松市番町四丁目1番10号

TEL: 087-832-3282 (ダイヤルイン) FAX: 087-806-0207

E-MAIL: kosodate@pref.kagawa.lg.jp